

技の守り人 匠会通信

越後与板打刃物匠会

No.30 2017/12/5

与板刃物に親しむ「木工教室」第2弾！

11月25日は雪のちらつくあいにくの天候でしたが、「楽しみにしていました！」と意欲満々の8名の参加者を迎えて、コミセンホールを会場に開催されました。嬉しいことに昨年に引き続いてのリピーターや、鍛冶体験で刃物ファンになった方など、与板の刃物に思い入れのあるメンバーが勢ぞろい。

今回は「鉋の使い方」「鑿を使っての組み込み」を中心とする内容で、作るのは「整理箱」。本格的工具の基本とあって、皆さん熱心に講師の説明に聴き入り、さっそくにトライします。



「道具が切れると仕事は気持ちいいものです」の講師の言葉にうなづく皆さん、TANTONの使い心地に満足感を示していただきました。



刃物の切れ味は「研ぎ」がポイント。製作活動の合間に、包丁を使っての実習です。

仕上げは鉋で。きれいな板面を出せるよう

真剣な作業が続きます。今年は製作時間をたっぷりとり心ゆくまで作ってもらいました。



木工指導に当たってくださった石動木工さん 建具職人の皆さんと、刃物を作る鍛冶職人とがコラボしたこの木工教室。他にはできないこのイベントは、今後も好評を得て継続していきたいものですね。皆さんご苦労さまでした！

今年度の鍛冶体験工房も大好評で終了！

与板のあらたなる挑戦「鍛冶体験工房」が、新聞やテレビにも大きく報じられて、体験者は県外県内問わず毎回満員という状況で推移しました。低迷する伝統工芸分野に一石を投じた意味は大きいと思っています。埼玉大学の学生グループとの交流も、今年は小学校へ波及して輪を広げました。また、与板刃物の技術を引き継ごうとチャレンジする島田クンが入ってくれたことで一条の光も見えてきました。この歩みを止めることなく、少しでも前へと進めましょう。

